

ふれあい記録

実施日： 2025 年 3 月 21 日（金）

当番者名 田中宏巳、神谷順子

コース名：十国峠～岩戸山～伊豆山神社をめぐる道
天 候： 晴 北西の風強し

（通し番号 第 204 回）

参加者：相川 勲、石井 公子、江口 正彦、神谷 順子、熊谷 信雄、新海 昭、田中 宏巳、
鶴岡 重典、西村 寿文、船橋 エイ子、細矢 清志、宮原 宏至
＜ビジター＞笠井 欣三、野口 和夫、（五十音順）
計 14 名 （内、男性 11 名 女性 3 名）

交 通（時刻）：集合 JR 東海 熱海駅改札口 8 時 55 分

＜往路＞ 横浜 7：22 発⇒戸塚 7：32 発⇒8：17 着小田原 8：20 発⇒8：43 熱海

コースタイム（時刻）：熱海駅 バス 元箱根行 9：18 発⇒10：00 着 十国峠登り口バス停

十国峠パノラマケーブルカー 10：15 発⇒10：20 着 十国峠山頂。

十国峠山頂（記念撮影と準備体操）10：30 発⇒姫の沢公園⇒10：55 着 日金山東光寺⇒

11：50 着 岩戸山（昼食 30 分）12：20 発⇒13：50 着 伊豆山神社本宮⇒14：50 着 伊豆山神
社⇒15：05 着 伊豆山神社バス停 15：10 発⇒15：40 着熱海駅 解散

みどころ：

- ・十国峠とは昔「伊豆」「駿河」「遠江」「甲斐」「信濃」「武蔵」「上総」「下総」「安房」「相模」が眺められたところからこの名前が生まれた。
- ・十国峠の大パノラマでは、好天に恵まれ、雪に覆われた雄大な富士山を堪能できた。
霧っていたが、西方の眼下には三島・沼津・富士宮の街並みと駿河湾を、南方には天城山
や大室山など伊豆半島の山並みを見ることができた。だが相模湾方面は視界不良で、伊豆
諸島の島影が見えなかったのは残念であった。
- ・お彼岸の東光寺には多くの参詣者が来るのか、線香の香り、蠟燭の明かりで活気があった。
お彼岸にお参りすると、いとしい人の後ろ姿が見られるというのが、まだ時間が早く、それ
らしき姿はなかった。
- ・伊豆山神社は品格のある神社らしい雰囲気にあふれていた。かなり高い場所にあり、下から
登っても、上から降りてきても楽ではない。こんなにキツイ神社に頼朝も政子も本当に来た
のであろうか

自然観察： 今年はや暖冬でなかったため、山はまだ冬のたたずまいで、期待した桜（ソメイヨシ
ノ）もまだ固い蕾、山桜はずっと先のことであろう。

伊豆山神社の参道に下向きに咲く寒緋桜の木が七分咲きであった。

熱海は自然を楽しむところではなく、時代の先端に行く斬新なリゾート用建築物を
口を開けながら眺めるところなのかもしれない。

特記事項： ほとんど下りのコースだが、意地の悪い神様か誰かが、わざと小石をまいてあるよ
うな道のため、歩きにくいこと、この上なかった。それでも誰一人転倒せず、怪我を
しなかったのは、特記に値する快挙であった。